

平成23年度岡山県農林水産総合センター森林研究所（木材加工研究室）  
機関評価評価票（概要）

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 公共建築物等木材利用促進法への対応で頻度が高まる。そのためには、乾燥技術、国産材内装材、接着、強度等必要性の高いことから研究する必要がある。					
2 組織体制及び人員配置並びに予算配分	非常に優れている 0人	優れている 2人	妥当 1人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 専属の人員をもう少し増員する必要がある。 2. 森林県であるならば（現状からの見直しは）当然必要なこと。 3. 予算大幅削減で運営に苦慮していることと思う。こうした中でも要望に応えられれば良いが、今後の対応には無理が生じるおそれがある。					
3 施設・設備等	非常に優れている 0人	優れている 1人	妥当 2人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 予算が少ない中で努力の跡が見られるが、設備、機械等の点検費用の予算が無い様な状態では、研究は前に進まない。 2. 老朽化しつつある施設や設備のチェック、評価を行い、修理や更新の計画を立てるべきであろう。 3. 県農林水産総合センター木材加工研究室として、研究者及び施設の充実を図ってほしい。民間ではできない機関であることを県は、より認識をしてほしい。					
4 研究成果	非常に優れている 0人	優れている 5人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. ラミナ強度性能は実用に活かされている。 2. 接合性能評価は密度とヤング係数の相関関係とのことだが、実用にどれだけ活かされるかが課題である。 3. 内装材含水率管理技術開発の研究は、床、壁、天井に応用できる。 4. 土木用材の耐用限界の研究は、実用化の判断材料に使える。					
5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験等の実施状況	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 部材開発や強度試験等多数の依頼試験を受け、地元業界の要請に応えたことは評価できる。その反面、組織再編で研修会等への時間が割けなくなっていることが懸念材料である。					
6 人材育成	非常に優れている 0人	優れている 3人	妥当 1人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 少人数でも努力の跡が見られる。 2. 将来的には新しい研究者が必要である。 3. 適当な頻度で参加できているが、次世代育成の観点からすると予算の制限があっても、もう少し出るべきである。					

7 他機関との連携	非常に優れている 2人	優れている 2人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
-----------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 乾燥問題研究会との連携が必要である。

8 県民への情報発信	非常に優れている 0人	優れている 2人	妥当 3人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
------------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 技術研修会、技術相談等、適宜行われている。また、必要事項について情報発信はできている。

9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 2人	優れている 3人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
--------------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 努力がなされている。  
2. 多方面の課題に対し、前向きに対応されている。

総合評価	非常に優れている 0人	優れている 5人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 予算、人員減の中で多方面にわたり努力をしている。業界からの専門技術の開発依頼と、県民への情報発信との両立は大変であるが、他機関、企業との連携を深めながら、更なる発展を期待したい。  
2. 総合的に見ると限られた予算と人員でよくやっていると評価する。時代によって研究要望が少しずつ変化しており、今後は今まで以上に新たなことへの取り組みが必要になる。